編集後記

年報『真宗文化』第二十九号をお届けします。

本号には、九月三〇日に行われた光華講座特別企画公開シンポジウム「仏教看護を考える」の講演録を掲載させていただきました。京都光華女子大学に看護学科が開設されて二〇一九年度で九年目を迎えました。シンポジウムでは、これまでの取り組みを振り返りつつ、仏教と臨床現場との接点、仏教と看護の協働の可能性を探りました。シンポジウムでは、仏教者の立場から早島理氏・長倉伯博士氏、看護者の立場から本学教授茎津智子氏・本学大学院修了生の柳下圭代氏にご登壇いただきました。多くの方が聴講してくださり、良いシンポジウムとなりました。ご講演くださった先生方、ありがとうございました。老病死と常に直面する看護師としての仕事の現場で、光華の卒業生たちには光華だからこそ学べたことを支えとして、活躍してほしいといつも願っております。

さらに、本号には、本年度の委嘱研究員である中西麻一子氏の論文に加え、特別研究員の稲葉維摩氏、山田智輝氏の論文を掲載いたしました。若手の一流研究者の力作をお届けします。

また、お待たせしておりました加治洋一前所員らによる『義足経』の翻訳研究が出版されました。『『義足経』研究の視座』というタイトルで自照社出版より刊行されております。緻密な読解研究の成果をぜひとも御覧ください。

今年度の聖典読書会と聖跡巡拝も、多数の参加者に支えられ、盛況に開催することができました。ご講師の渡邊愛子先生、東舘紹見先生ありがとうございました。

来年度、本学園は創立八〇周年、真宗文化研究所も設立三〇周年の節目を迎えます。厳しい時代ですが、いまこそ他者を思いやる心・「光華の心」を世に伝えていくべきときだと感じております。変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

（FO）

真宗文化　第二十九号

令和二年三月一日　発行

発行　京都光華女子大学
真宗文化研究所
所長　小澤千晶

京都市右京区西京極葛野町三八
電話　〇七五（325）五三八三（直）
E-mail sbk@mail.koka.ac.jp
URL http://www.koka.ac.jp

印刷　協和印刷株式会社